

平成27年度 山口県立下関中央工業高等学校 学校評価書 校長(中村 圭治)

1 学校教育目標	
教育目標……①明らかな心身の発達をはかる。②勤労を愛好し、個性豊かな技術者としての資質の伸長をはかる。③誠実を旨とし、旺盛な責任感と協調の心情をつちかう。 中・長期目標……①「質実剛健」の校訓のもと地域との連携を図り、地域から信頼され、共に感動できる学校づくりの推進 ② 生徒の個性を育て、進路希望に応じたキャリア教育の推進 ③ 工業技術の基礎基本を習得させ、ものづくりを支える専門的職業人の育成	

2 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)	
歴史的に地域産業・経済と密接な関係にある本校は保護者、地域との連携もあり、進路決定に大きな成果を上げている。景気動向も踏まえて、より一層の情報交換が不可欠である。また、「ものづくり」人材の育成という面から、資格取得に向けての取り組み・機運が全国的に高まっている。卒業後の資格取得も見据え、生徒・保護者とのより積極的な啓発活動に努める必要がある。昨年度は各種資格試験の合格率が徐々に向上し、成果を上げている。中国地区レベルでの成果を上げる生徒も出ているので今後につなげていきたい。	

3 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題	
次世代で活躍し、信頼される人材の育成 『凡事徹底』 「資格取得」、「ものづくり」への支援 ① 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得 ② 社会人として必要な基本的な生活習慣の確立 ③ 教職員の協働体制による組織力の向上	(学校チャレンジ目標) 「生徒自らが目標を高めるPDCAによるチャレンジ目標の設定と実行」

4 自己評価				5 学校関係者評価			
評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	達成度	重点目標の達成状況の診断・分析	学校関係者からの意見・要望等	評価
教務課	学習指導	国語・数学・英語の基礎テストを年間計画に従って実施する	得点率8割以上の生徒が 4:60%以上 3:50%以上 2:40%以上 1:40%未満	3	1月までに実施されたものの結果を平均した、得点率8割以上の生徒の割合は52%と目標を下回った。9月までで60%であったことを考えると、9月以降問題の難易度が上がったことや、生徒の意欲が低下したことが理由として挙げられる。生徒の意欲を持続させるための工夫が必要である。	意欲が醸成されれば伸びてくると思う。基礎学力の重要性をよく認識させる工夫と、意欲低下の理由等の分析を踏まえて学習の契機にしてもらいたい。	B
	図書関係	「図書だより」を発行し、図書室の利用度を高める	図書室の一ヶ月の延べ利用者が 4:200人以上 3:100人以上 2:50人以上 1:50人未満	3	12月までの利用者は平均170.8人となっている。国語科を中心に図書室を利用する授業を展開した。デジタル化が進む現代において、本に親しんでいる生徒がいることは喜ばしいことであり、今後も利用を促したい。	読書に対する学校の姿勢と購入力も含めて予算を願う。本好きな生徒の利用と、コミュニケーションの場としての活用も促進して欲しい。	B
	読書習慣の定着	学期に数回、美化委員による美化活動の日を設ける	美化活動の実施回数が年間 4:12回以上実施 3:10回以上実施 2:8回以上実施 1:6回以下	4	計画通りに美化活動が行われており、校内の美化に貢献している。	計画通りに実施されていて、成果を上げていると思う。生徒自らが美化に励むことは大切な活動なので、これからも積極的な取り組みをお願いしたい。	A
生徒課	生徒指導	「挨拶の励行、服装や身振りの厳正」等、真摯な生活態度を持ち「質実剛健」の校風を維持する。「皆勤を奨励」し基本的な生活習慣を育てる。マナーを身につけ、規範意識の高揚に努める。	定期的に行う頭髪服装検査の合格者が 4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:60%以上	3	頭髪服装検査の合格者(4月～2月) 1年 92.9% 2年 82.7% 3年 91.6% 全体 89.3% 1・3年生については、概ね良好であるが、2年生の規範意識が低い。	大きな乱れは見られない。今の学校の雰囲気は良くできていると思う。進級する毎に良くなっていくとは思っている。年度が変わり目の指導の在り方にも工夫が必要かもしれない。中央工らしい生徒が育っていると思いき喜んでいる。	A
	教育相談	アンケート調査により生徒の状況を把握し、担任と連携し事態の深刻化を防ぐ。係を定期的に実施し、情報交換や情報共有を図る。教育相談だけでなく、SCを利用した環境作りやSCの活用を活性化させる。	4:係会17回以上、便り8回以上 3:係会15回以上、便り6回以上 2:係会10回以上、便り4回以上 1:係会10回未満、便り4回未満	4	学期ごとにアンケートを実施し、いじめに関することや学校への対応感を調査し、対応が必要な生徒に対しては担任・養護教諭・SC等と連携して実態把握や個別の相談を行った。 係会ISCの来校日に合わせて17回行っており、生徒の情報交換、対応の検討等を行っている。また、学年別の情報交換会も実施し、学級をこえた情報共有の環境作りに取り組んだ。 教育相談は約10回発行し、SCの利用を呼びかけることに活用した。	なかなか表面からは理解しづらい生徒の悩みを、くみ取る指導をお願いしたい。情報交換の機会が多ければ、生徒の不安軽減に繋がると思われる。これからも引き続き積極的な取り組みをお願いする。	A
	進路実現	3年間のキャリア教育プログラムを通して、全ての生徒の夢を実現するためのキャリア教育を充実させ、生徒の進路を支援する	卒業時における進路未決定者が 4:なし 3:5名以内 2:10名未満 1:10名以上	4	5・6月に求人開拓のための企業200社を訪問した。一昨年から全国的に深刻な人材不足の影響で、求人が増加しているが市内からの求人は昨年並みだった。県外の企業からは昨年より増加した。応募前職場見学には、県内延べ60社100名訪問し、全教員で生徒引率をして生徒のマッチングへの指導も円滑にできた。一次試験の結果は88%であった。 ・キャリア教育では、2年次のインターシップを行った。事前指導や安全教育を実施し、目的や意義を把握させることができた。	生徒に寄り添い、一人ひとりにあった進路指導がなされている。この社会情勢で早々の目標達成は積極的な取り組みの成果であると評価できる。	A
進路指導課	PTA活動の充実	PTA総会、地区懇談会、校内諸行事への参加を呼びかけ、学校と保護者との連携を深める。	PTA総会における出席率が 4:50%以上 3:35%以上 2:20%以上 1:20%未満	3	・PTA総会の出席率は、45%であり、昨年の48.1%を多少下回った。地区懇談会では、3会場で37名の出席で、昨年31名と多少向上した。統合に向けて生徒数が減少する中、保護者との連携、保護者間のつながりのために、更なる出席率を向上させる手立てをしなければならぬ。 ・PTA役員による面接指導では、受験前の生徒に対して、面接指導・アドバイスをいただき、生徒にとっての自信になり、試験では、面接結果の好評価で内定をいただく企業もあった。	保護者と学校とのより一層の連携に向けて積極的な呼びかけをお願いしたい。役員による面接指導などが成果を上げている。総会の出席率としては高水準ではなからうか。	B
工業科	専門的職業人の育成	資格取得のための支援を行い、取得によって工業技術や職業人としての意欲や関心を高める。	1月末のジュニアマイスターポイント合計 4:1900ポイント以上 3:1700ポイント以上 2:1500ポイント以上 1:1500ポイント未満	3	2月末のジュニアマイスターポイントが、延べ人数588人で合計1869点であった。 昨年度に比べ、合格率が下がった資格もあったが、技能・技術検定の合格者が増えたことから学校全体のポイント数が増えた。生徒の意欲関心を高め、個別指導など資格取得に向けた支援を行う。	資格取得を自分のためだけでなく、努力して欲しい。取得のための努力が基礎学力の向上に資することを理解させたい。	B
業務改善	日常業務	定例の職員会議・運営委員会等を1時間以内で終わる	1時間以内の会議が全体の 4:100% 3:90%以上 2:80%以上 1:80%未満	2	定例な議題であったが、司会進行の不手際もあり予想外に時間がかかった会議があった。今後は事前の調整を図り、円滑な運営を心がけたい。		
							勤務状況

6 学校評価総括(取組の成果と課題)	
(教務課)基礎テストが学校生活の中で定着してきた。問題レベルの維持が図られているのか検討分析の結果共有も職員間に浸透し始めている。 (生徒課)不登校(気味)や問題行動の背景が複雑化し、教育相談的な関わりが多くなった。部活動、体育大会や中央工祭において生徒会を中心に活動し大変頑張った。避難訓練においてのブラインド方式の試みにも一定の成果があった。 (進路指導課)PTA総会、地区懇談会等の出席率について、統合に向けて生徒数が減少する中で、PTA活動の維持に知恵を出さなくてはならない。年内に就職希望者全員決定し、1次試験の合格率も昨年より向上している。SPI一般常識を中心に指導していかねばならない。 (工業科)ものづくりコンテスト等の成績は例年以上の結果を出した。また、各資格取得に向けて各科での取り組みも充実してきている。	

7 次年度への改善策	
(教務課)担任、学年間だけでなく、科・コース全体の協力により一層求め、基礎学力向上を目指す。 (生徒課)生徒が学校生活に満足感や一体感を感じるためにも、学校行事では綿密な打ち合わせを重ねて、生徒の安全確保に努める。 (進路指導課)PTA総会、地区懇談会等の出席率について、改善策を講じてきた。再編統合に向け、PTA活動の維持・運営に努める。 求人状況が好調になると、志望先の絞り込みが大企業に偏る傾向があるので、日常の指導を充実させる。進路指導課としても、全体指導の取り組みに連携していく。 (工業科)資格の有用性、必要性を再度説明して理解を深めていく。ジュニアマイスターの目標ポイントも調整しつつ、生徒の関心意欲の向上を図る。	